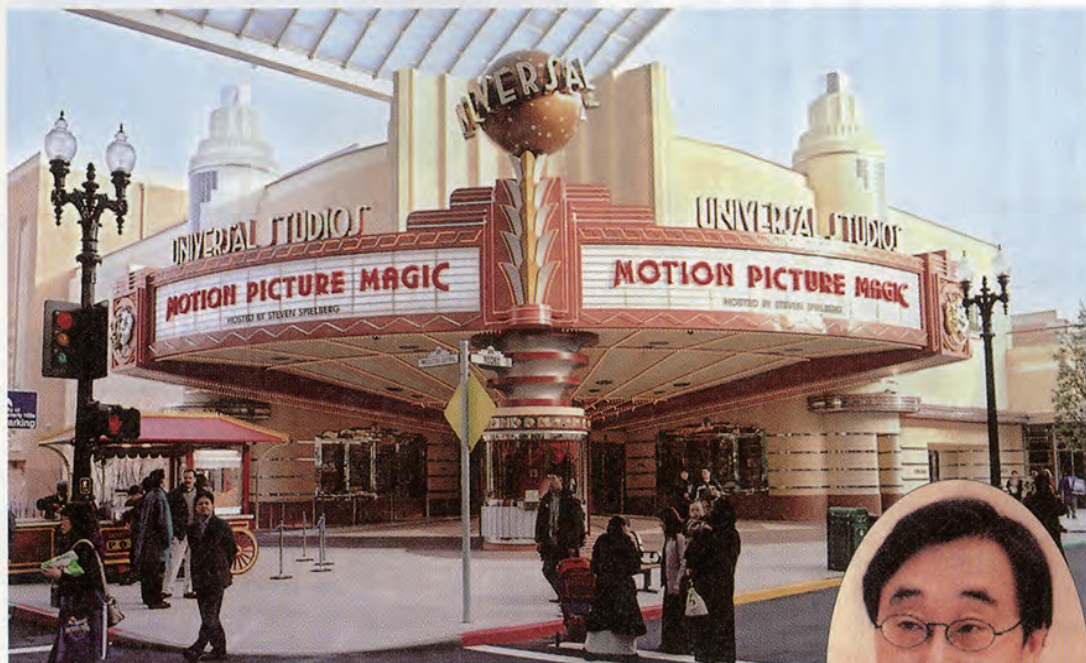


会員ひとりひとりが主役です
大阪を舞台に
 大きく花を咲かせましょう



町づくり&異業種ネットワーク
 なにわ名物開発研究会

代表幹事 野杵 育郎

なにわ名物
 開発研究会
 は、今年で設
 立七年目を迎
 えます。この
 七年間で、大
 阪のまちを取
 り巻く状況も

大きく変わってきています。
 当研究会が関わる「大阪の集客観光
 事業」「大阪のまちづくり」の二分野
 においては、昨年春のユニバーサル・
 スタジオ・ジャパンの開業を期に、ま
 すますフォロワーの風が吹き始めてい
 るという思いを強くしています。同時に
 《異業種ネットワーク》としての「な
 にわ名物開発研究会」の活動も、一段
 と大きな、そして必要とされる団体と
 して、地域から、行政から、市民から
 ……ますます認知が高まってきているも
 のと確信しています。

このような状況のもと、なにわ名物
 開発研究会では今年、さらに活動の輪
 を広げ、積極的に事業に取り組み、具
 体的な成果をあげたい!と思います。
 「なにわファン倶楽部」が昨年スタ
 ートしました。この事業は、単に地方
 や首都圏にいる「なにわファン」や在

なにわ名物
 研究会
NEWS

<第10号>

2002年5月28日発行

発行
 なにわ名物開発研究会

〒542-0076
 大阪市中央区難波1-7-2
 SENOYAビル3F
 TEL・FAX 06-6213-5554

阪の「サポーター」を組織化して情報
 を発信する—という企画意図だけでは
 ありません。それに付け加えて、なに
 わ名物のパンフレットづくりや商品の
 通販にもつなげていくことも視野に入
 れています。また、昨年は懸案の「N
 ANIWAブランド開発」もようやく
 立ち上がりました。これは「大阪を元
 氣にする—なにわブランド開発と推進
 施策—事業構想企画案II都市ブランド
 創造と都市活性化事業システム」とし
 て《伝説のパーク》の名のもと、マー
 ケティングチーム事業として、今年度
 大きな展開が期待されています。しか
 しながら、事業計画を達成できなかつ
 た項目もあり、反省しています。今年
 は、決してマンネリ、停滞に陥ること
 なく、当研究会のモットーである《い
 ちびり精神》を十二分に発揮しまっ
 せ!

このGWにもたくさんのお客様が大
 阪に来られました。いままではなほ
 ど、ご近所の「お好み焼屋」さんや
 「たこ焼屋」さんに長い行列が出来て
 いました。松竹座の公演も連日超満員、
 国立文楽劇場も賑わっていたそうで
 す。

さあ、私たち「なにわ名物開発研究
 会」、そして会員のひとりひとりが主
 役です。今年度も、大阪の元氣発信を
 めざして、またさらなるネットワーク
 の拡大に、そして皆さんの元氣づくり
 にお役にたてるよう、がんばりしよ
 う。なにわ名物開発研究会から、人も、モ
 ノも、たくさんの方を生み出した
 と思います。

2月度(2002年2月26日)

観光都市宣言
文化集客アクションをテーマに

岩井雄司近畿運輸局企画部観光課長を講師にお招きし、大阪産業創造館にて、大阪府の「観光立都大阪宣言」と大阪市の「文化集客アクション」をテーマに、USJの訪問客の動向などのデータをもとにした大阪の観光振興についてお話をいただいた。「来訪者はコテコテの大阪を見たがっているが、ナイトライフを過ごす場所がない。二十四時間ショッピングができる所がキタとミニミに一カ所あれば良い」と課題も。

1月度(2002年1月24日)

トレンドスポットで
新年互礼会

京橋にあるグローバル・ダイニング・ワンズにて新年互礼会がおこなわれた。トレンドいな雰囲気のお店もなにわ名物の面々が入ると賑やかで、単なる居酒屋に？人間ビンゴゲームで盛り上がり、歓談も尽きぬまま、みなさん景品をお土産に家路につきました。



4月度(2002年4月23日)

W杯前哨戦？
たこやきボール争奪戦

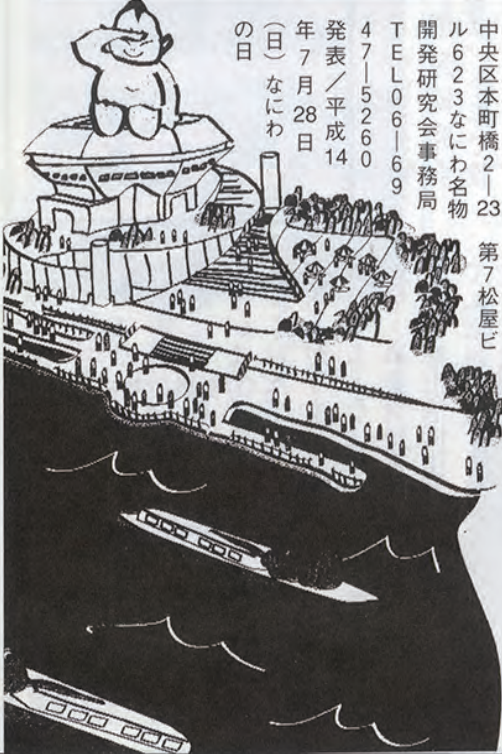
今年で二回目となるボウリング大会が、昨年と同じ大阪ドームシティパドゥ内にあるボール123で行われた。前回の覇者、吉里さんの連覇という快挙に万雷の拍手で「タコ焼きボール」の授賞式がとりおこなわれましたが、代表幹事のN氏と事務局長のH氏の新たな（低次元でのスコア争い）ライバル関係が築かれたとの報告も。来年は優勝争いもさることながら最下位争いも目が離せない…。



3月度(2002年3月26日)

ニュービジネスの立ち上げと
特許の関係は

大阪産業創造館にて、講師に北村光司特許事務所長をお招きした。ニュービジネスの立ち上げと特許の関係について事例を交えて分かりやすくお話いただいた。その後、会員紹介や情報交換を行い有意義な時間となった。



応募方法／官製はがきにあなたが推薦する 個人、あるいはグループの名前その簡単な活動内容について書きあなたの連絡先（郵便番号、住所、氏名、年齢、ご職業、電話番号）をご記入の上、なにわ名物開発研究会事務局までお送りください。
審査／難波利三選考委員長をはじめ学識者を含む「なにわ大賞選考委員会」による厳正な選考により決定します。（ノミネートされた個人・グループについての詳しい活動内容を知るために写真・ビデオなどの関連資料のご提供をお願いすることがあります）。
締め切り／平成14年6月20日（当日消印有効）
応募先／540-0029 大阪市
中央区本町橋2-23 第7松屋ビル623なにわ名物開発研究会事務局
TEL06-6947-5260
発表／平成14年7月28日
（日）なにわの日

いちびり募集
第5回
なにわ大賞

大賞20万円／準大賞5万円

大阪一のいちびりを
今年も募集しています。

「いちびり」とは、競り市で手を振って値の決定をとりしきる事、またはそのとりしきる人の事をいう「市振り」が語源で、転じて物事のリーダーシップをとる事や人のことを言います。

わたしたちは、大阪の「文化」「歴史」「芸能」「アート」「まちづくり」などについてユニークな活動をしている大阪在住の個人・グループを探しています。自薦・他薦は問いません。どしどしご応募ください。ただし、選考の都合上一枚のはがきに一個人または一グループのみご記入ください。待つてます。

雨も遠慮?してくれた 「中之島まつり」

五月三、四、五日の三日間、恒例の中之島まつりが催されました。なにわ名物開発研究会はテント二張りのブースで参加し、連日大勢のお客様様にぎわいました。心配した雨もたいしたことなく、お客様と会員との軽妙なやりとりで、常になごやかな場となりました。

昨年入会の株式会社ヤマカワの山川社長も中之島まつりに初参加。懸命に商品説明などお客様に対応する姿に、なにわ商人の心意気を感じました。当会顧問の森一貫先生、旭堂小南陵師匠をはじめ



まいど!

め会員各位の陣中見舞いや応援もひきもみならず、有意義な参加になりました。なお、当会会員で前事務局長の山本英夫さんが中之島まつりの実行委員長の大役を見事につとめられました事もご報告します。

昨年より一社多い十八社が参加 大阪インターナショナルギフトショー

第二十六回大阪インターナショナルギフトショー・春・2002が三月十三、十四、十五日の三日間マイドーム大阪で開催された。当会からは昨年より一社多い十八社の参加がありました。各社の創意あふれる出展物は、会場を訪れた大勢の注目を集めました。

後日、木村副代表からの「どや、どや、どや。これがなにわの底力やで」というメールに今回の成功の秘訣があるように感じました。

会員交流部会

交流部会は担当副代表の木村さんの下、研究会内外の交流をより一層進め、皆さんのビジネスや趣味に役に立つ研究会にすることを目的に活動しています。具体的には、会員各社の業務内容、取扱商品の一覽展示と対外広報のための大阪ギフトショーへの出展や、時間をかけてゆっくり語り合える旅行会、もちろん飲み会も行っています。

会員同士のコミュニケーションを良くしていただき、仕事や趣味でパワーアップできるような本年度も頑張ります。月一回の部会参加と、時々二次会お付き合いです。商品協賛、どんぶり勘定、時間の融通、そしてメール環境のある方ご参加下さい。松本までお気軽に声をかけてください。

広報部会

広報部会は年に数回の機関紙の発行を通じて、なにわ名物開発研究会の活動を伝える情報発信を担う重要な存在です。特に記録の重要性を再認識し、行事記録の保存を考慮した「NEWS」は、読み手と書き手のフィットネスを考えたビジュアルで中身のある紙面を目指しています。「行事の写真くらいなら」「下手だけど一回くらいなら」「イラストが得意です」「記事の依頼や督促はできる」とお思いの方、当部会のスタッフとしてのご参加をお待ちしています。

併せて、本年は所属部会に関係なく会員各位に行事ごとに取材、撮影の依頼をお願いし、研究会への参加意識をより高めめますので、ご協力の程お願い申し上げます。(岩崎)

商品開発研究会

「商品開発部会って何してんねや?」にお答えします。

第一に、ズバリ!なにわ名物アイテムの開発。言い出しっぺの会員さんの呼び掛けに対して、実働チームを結成し、その商品開発のフォローアップをします。

第二に、特になにわに関連しなくても、相談に乗ります。つまり、食品・雑貨その他諸々に関わらず、楽しくモノ作りしましょう!というワイワイと行動する部会です。「こんなナンあったらエーのにな」が出来たかもしれないヨ。面白そうなテーマの時だけの参加もOKです。一切費用請求は有りません。ただ、会員同士で「商売」が発生した場合は当人同士で決済してください。結果、もし他人のアイデアで大儲けされたとしても、ただ羨ましいだけです。

マーケティング開発チーム

ナニワブランド開発を推進しブランドを会の資源として活用することを目指すと共に売り場作りの研究活動を推進しています。又、事業推進にあたっては実務組織である各部会との連携性を高める為、事務局とその活動を連動させています。

1、ブランド研究と事業活動への展開活動。昨年度の基礎案を基に事業展開の為の会及び各部会への提議、協議、構築を推進。

事業展開計画の研究、立案関係各方面への活動内容の説明活動
2、売り場づくりの為の研究活動。ブランド開発研究と併行して、会としてのマーケティング活動を推進の為の新たな売り場やユーザーとの接点になる場の構築を目指した研究活動を行う。

新入会員紹介

- 前川祐司 マエカワテイスト(株) 調味料製造
- 和田浩明 毎日新聞大阪本社
- 難波正雄 (有) 難波商店 青果・食品小売
- 植村甚久 (株) 戎大黒本舗 菓子製造業



2月例会の様子。有意義な勉強をしています。新入会員さん「いらっしやーい」。

部会活動などにお使い下さい。

なにわ名物開発研究会の事務所が増えました。国際集客都市・大阪のシンボルとなる「なにわ名物」を効果的にアピールする有意義な情報交換の場として、会合や打ち合わせに、またイベントの備品整理の場にお使いください。



- 本部
大阪市中央区難波1-7-2
SENOYAビル3F
☎・fax (06) 6213-5554
- 事務局(会議や諸事連絡)
大阪市中央区本町橋2-23
第七松屋ビル623
☎(06) 66947-5260
- 事務所(会議や備品整理)
大阪市中央区大手前1-3-62
大手前ビル403(電話はありません)

TOPICS

有限会社ビー・シー・エス・インスティテュート

なにわ名物の交流から新しい会社がうまれました

「革新的ビジネスコミュニケーションを創造する」を事業ドメインに、5つのB.CとSを実行しようと、萩原俊貴さんが社団法人日本能率協会を円満退社し、3月中旬に有限会社ビー・シー・エス・インスティテュートを創業、取締役日に野泰秀、山下敦子さんも就任した。「いずれ独立したい、と考えていたので『なにわ名物…』にも個人会員として入会していました。事業の内容を社名にし、食関係の催しや工作機械の団体の企画提案などから仕事をスタートさせます」と萩原さん。

新しい動きが、ドンドン芽生えます。大阪が元気になる団体です。



萩原さん

5つのB.C (BusinessCommunication、BusinessChance、BigCommerce、BusinessCreate、BetterCompany) S (Sympathize、Specify、Support、Succeed、Satisfy) を誠意をもって実行しようと意欲的な毎日です。

事務所は大阪市中央区本町橋2-23 第7松屋ビル ☎ 06-6947-5328

会 員 紹 介

大澤金属工業株式会社

ベルトのバックル・家具金物・袋物金具などの真鍮小物鑄造品の金属製品を三十年近く作っています。最近では、その素材を生かし、ラバーキャストと共にオリジナリティ、パロディー性の出る観光土産を自社で企画・製造・販売しています。



大阪市生野区巽西3-4-20
☎06(6757)3645

また、大阪の各商店街の活性化、集客のために、その地域のPR商品・企業の販売促進商品を作成し、陰ながら応援するべく共に頑張っています。個人PR商品も扱っています。今までの代表作は「NHKとおき関西」で放映されたタコ焼きキーホルダーと、今好評のピリケングッズです。「人と人とのつながりを大切に人の為に尽す」が私共のモットーです。これからも面白い商品づくりに頑張っていきたいと思えます。

株式会社ユウビ造形

弊社はスポーツ用品の製造を手掛けて来たスタッフを中心に、造形部門とスポーツ関連部門からなる企画開発型の会社です。

一例として、スキー靴を素材や技術といった視点で分解してみると実に様々な素材を、接着・縫製・溶着・カシメといった技術で一台の機能(保温、除湿、緩衝、力の伝達)を持たせた製品として仕上げられています。

我々は複数の素材を複合する事により、機能をもった製品に仕上げることを得意としています。また、平面図を立体物として仕上げる事も同様に、絵や画面で活躍する人気キャラクターを高い精度で立体化し、お客様に提供しています。

大阪府八尾市泉町1-83-5
☎0729(94)1691

